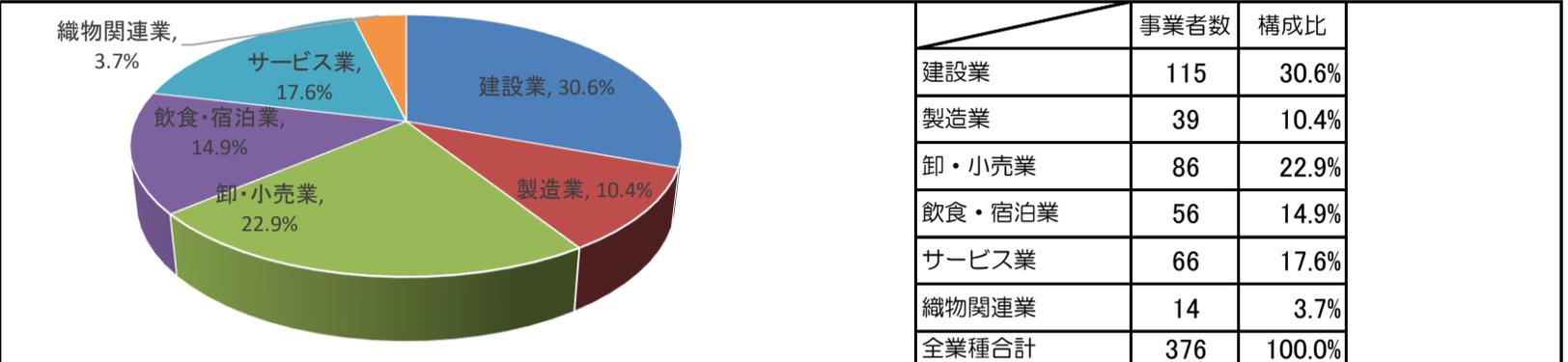


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R4.4.1~R4.6.30) 会議所地区

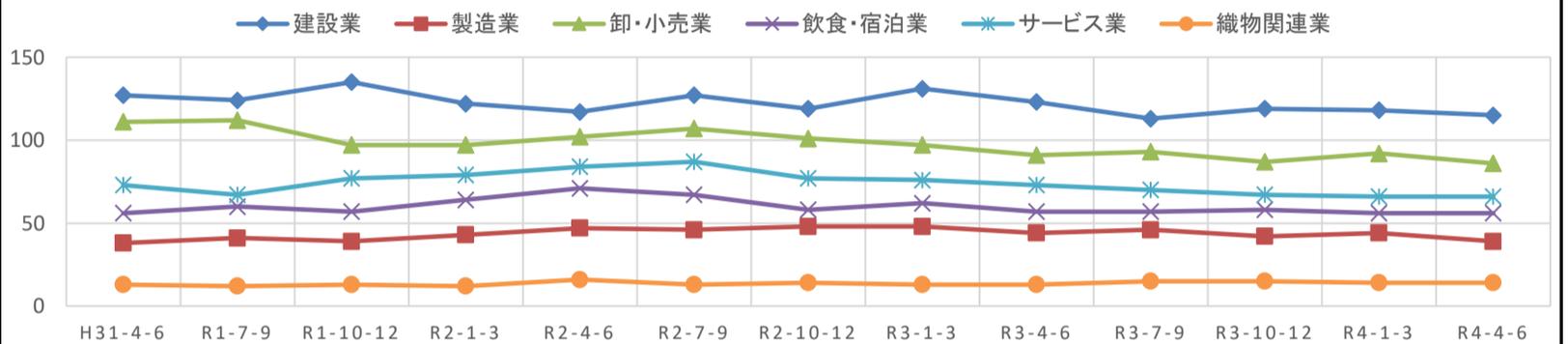
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

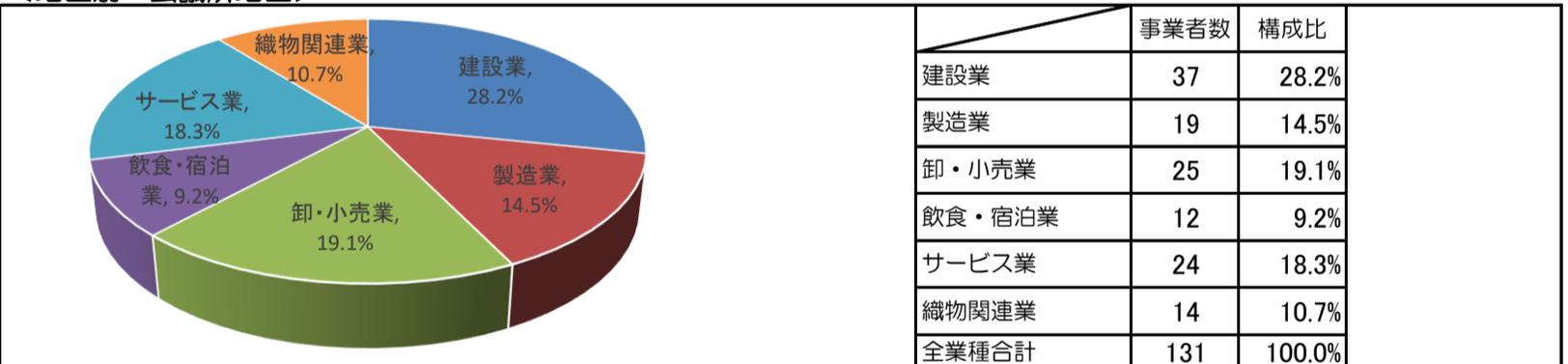


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

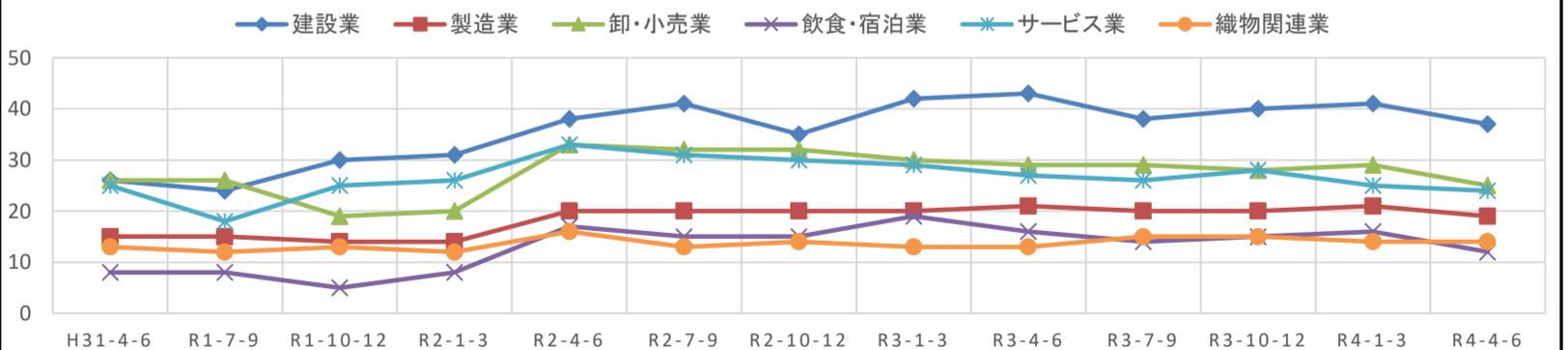


<コメント> 今回の調査は、十日町市内376事業所から回答を得られ、前回調査よりも14事業者減少している。建設業と製造業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



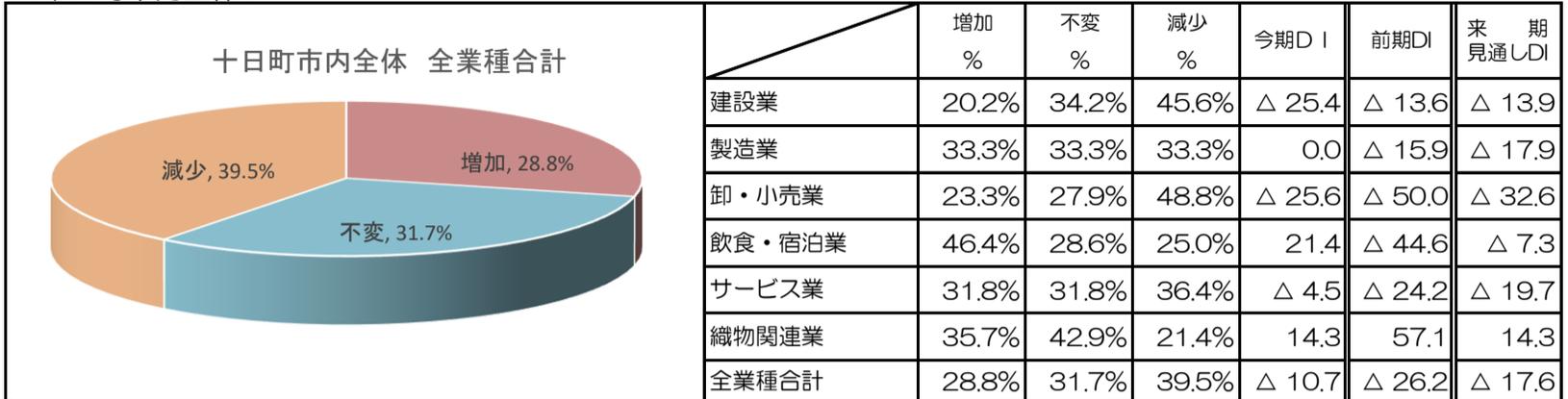
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、配布190事業所のうち131事業所からの回答があり、回収率は68.9%であった(前回: 回答事業所146事業所、回収率75.6%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

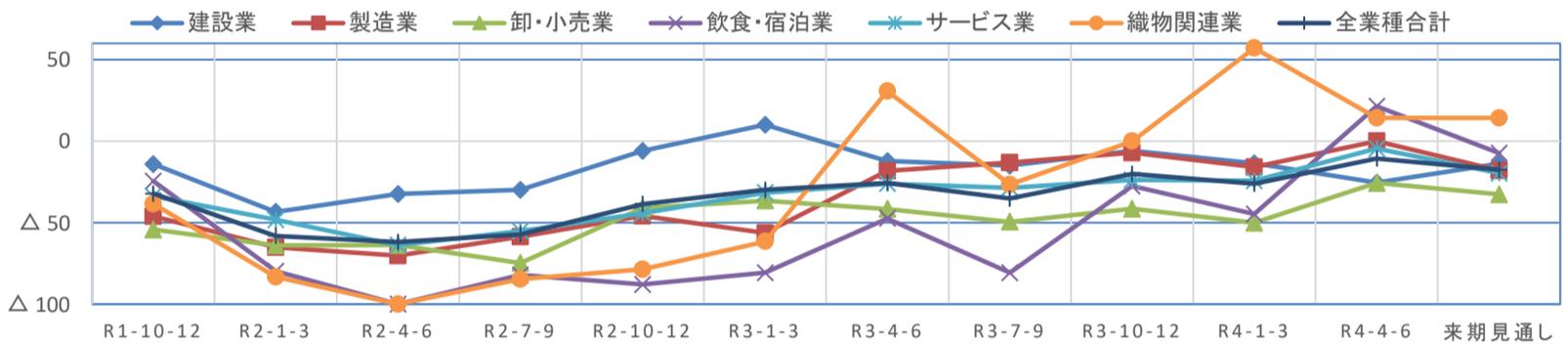
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

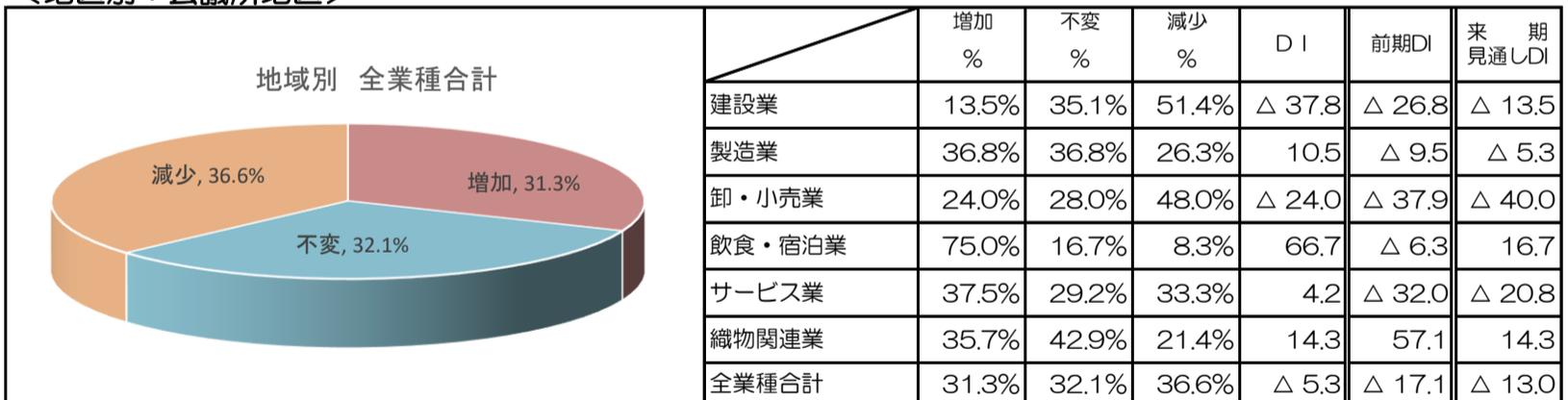


業種別売上の推移(市内全体)

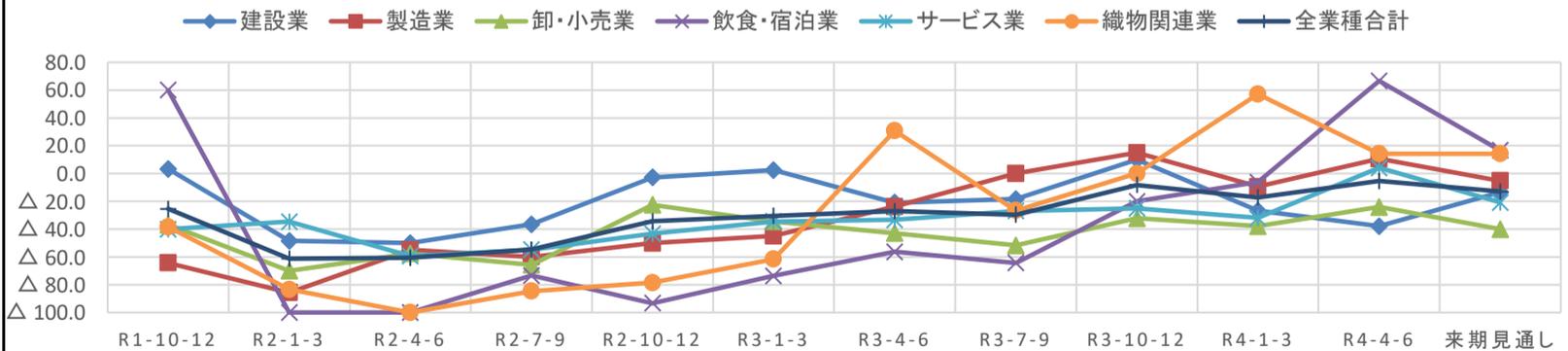


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△10.7ポイントで、前回調査時よりも15.5ポイント上昇となっている。建設業以外の業種でDI値が上昇した。来期見通しでは建設業以外の業種で低下予想となっており、全業種DI値においても低下する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移(地区別)

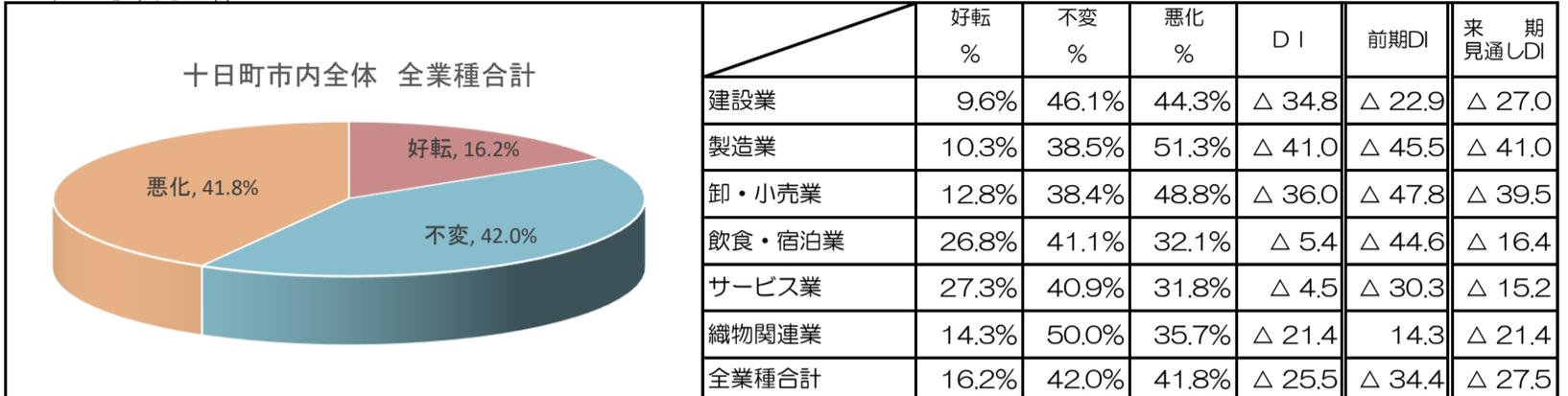


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△5.3ポイントで、前回調査時よりも11.8ポイント上昇となっている。業種別に見ると、建設業（前期比△11.0ポイント）と織物関連業（前期比△42.8ポイント）が低下したが、その他の業種は上昇しており、飲食・宿泊業は前期比73.0ポイント増と大きく上昇している。来期見通しでは建設業が上昇、織物関連業は横ばい予測だが、その他の業種は低下予測となっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

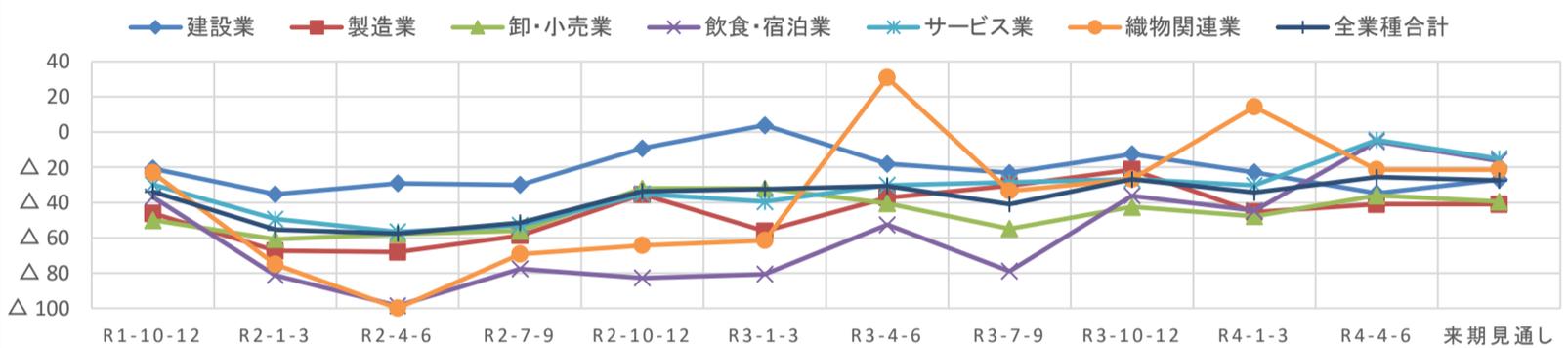
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

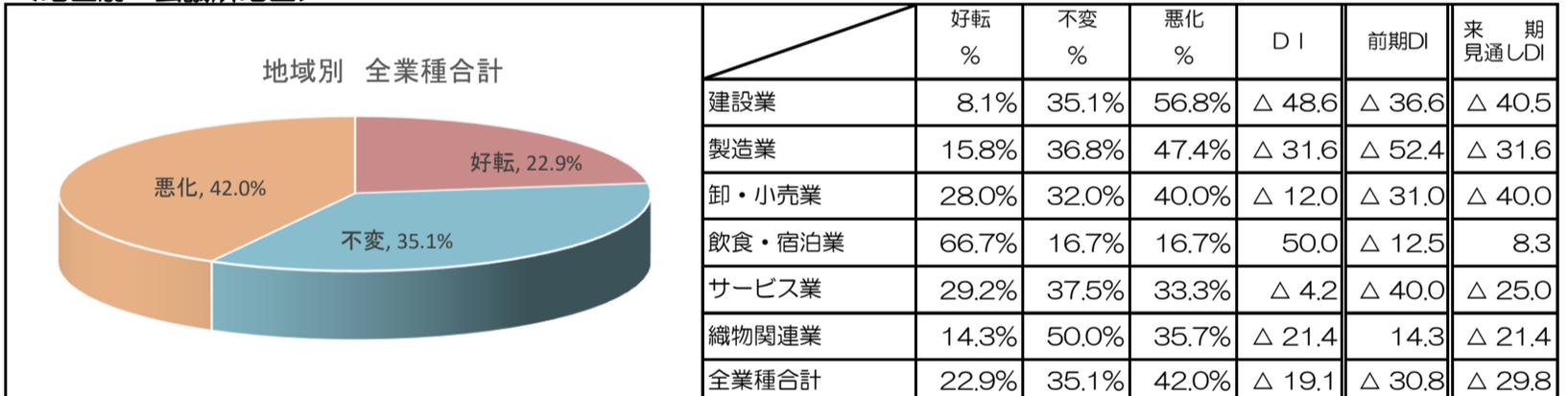


業種別採算の推移(市内全体)

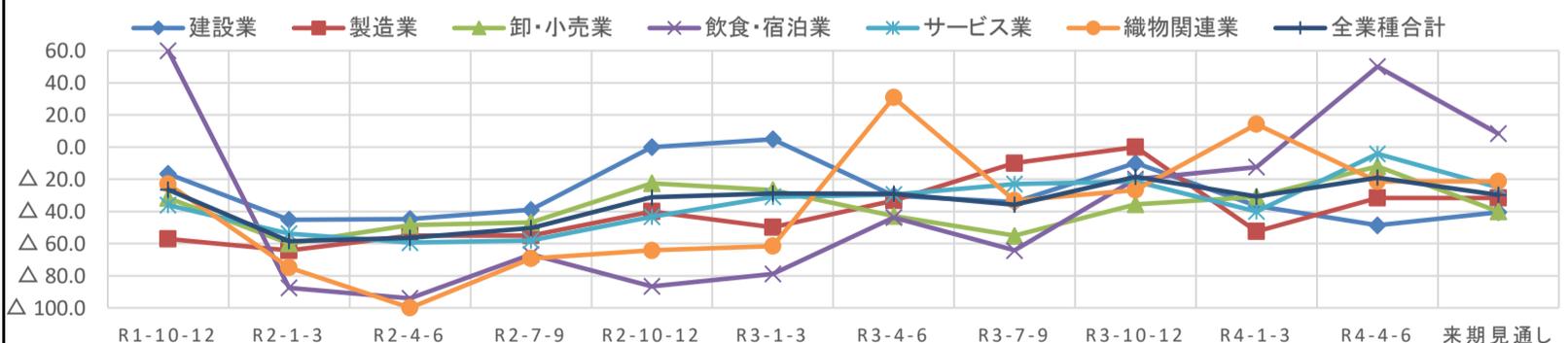


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△25.5ポイントで、前回調査より8.9ポイント好転している。特に飲食・宿泊業、サービス業での好転が大きくなった。来期見通しでは、建設業以外の業種において悪化予測となり、全業種DI値においても悪化見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

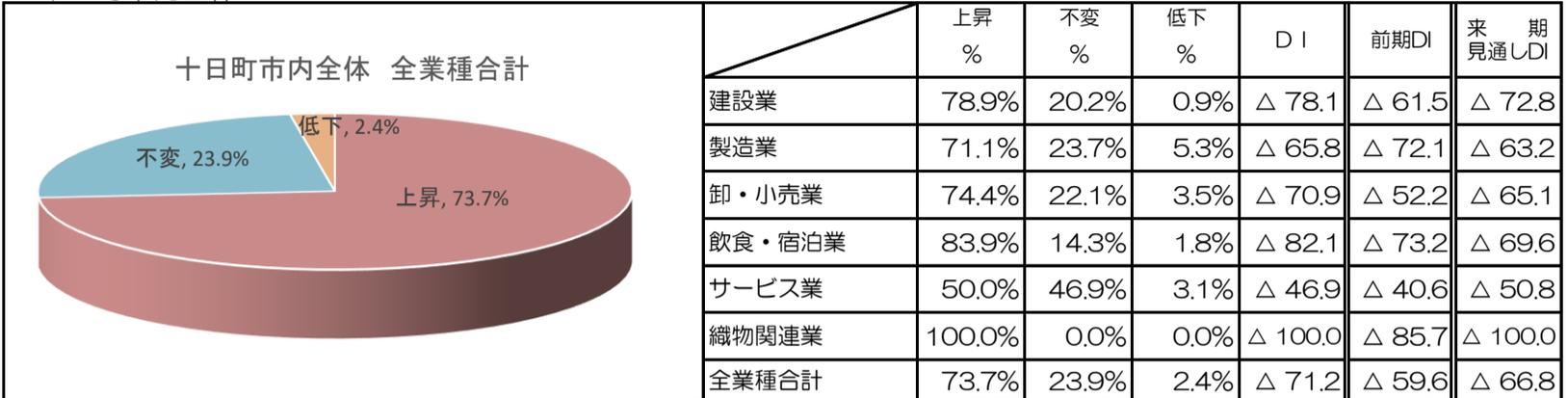


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△19.1ポイントで、前回調査時よりも11.7ポイント好転している。業種別に見ると、建設業（前期比△12.0ポイント）と織物関連業（△35.7ポイント）が悪化した。その他の業種は好転しており、売上状況と同様の結果となっている。来期見通しでは建設業では好転予測だが、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業では悪化が予測され、全業種DI値においても悪化見通しとなる。

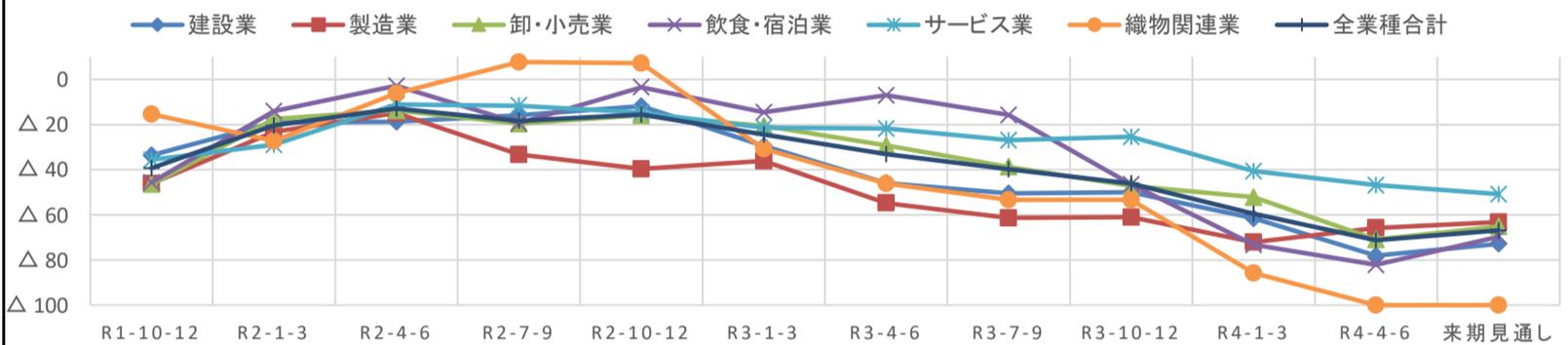
3. 仕入単価について

・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

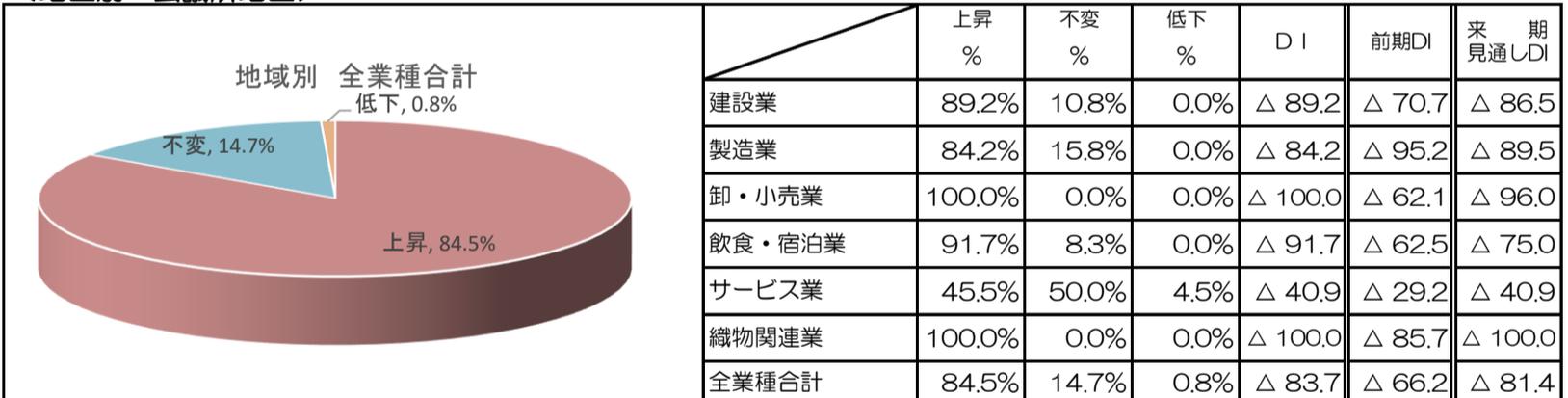


業種別仕入単価の推移(市内全体)

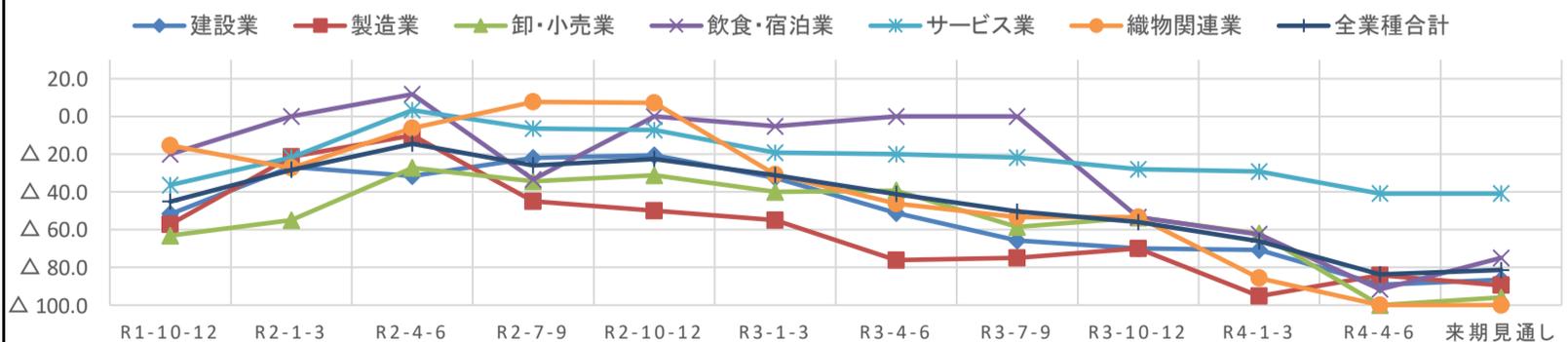


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△71.2ポイントで、前回調査時よりも11.6ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。製造業以外の業種において上昇しており、原料、燃料高騰の影響を大きく受けていると想定する。来期見通しは、今期よりも仕入単価が低下する見通しであるが、以前として動向には、注視する必要がある。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

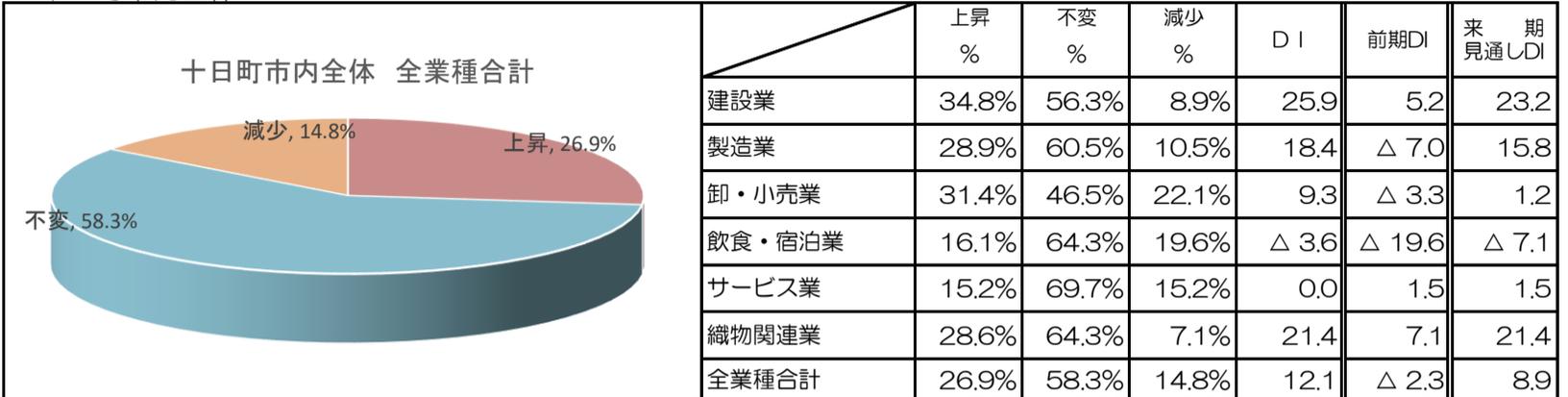


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△83.7ポイントで、前回調査時よりも17.5ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。業種別に見ると、製造業（前期比△11.0ポイント）のみ仕入単価低下が見られたが、その他の業種は仕入単価上昇となった。来期見通しでは、今期仕入単価低下となった製造業の単価上昇が予測されるが、その他の業種では横ばい、または低下予測となっている。

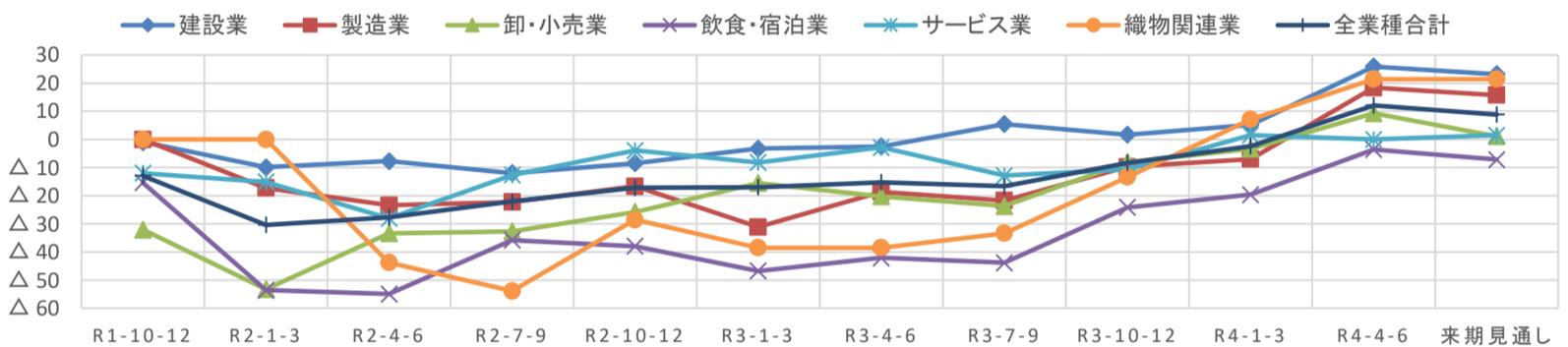
4. 販売（客）単価について

・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

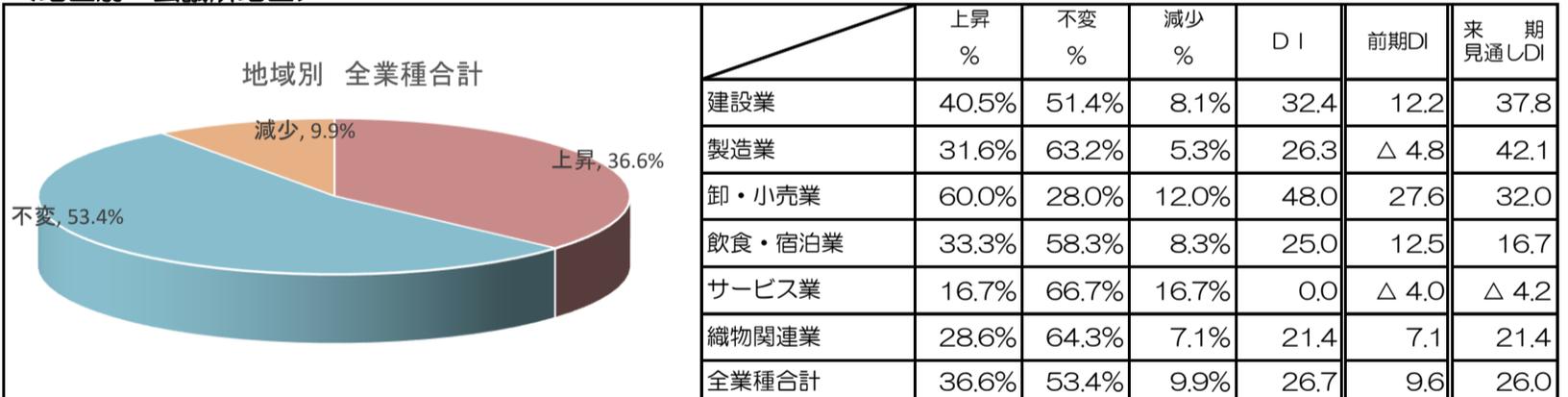


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

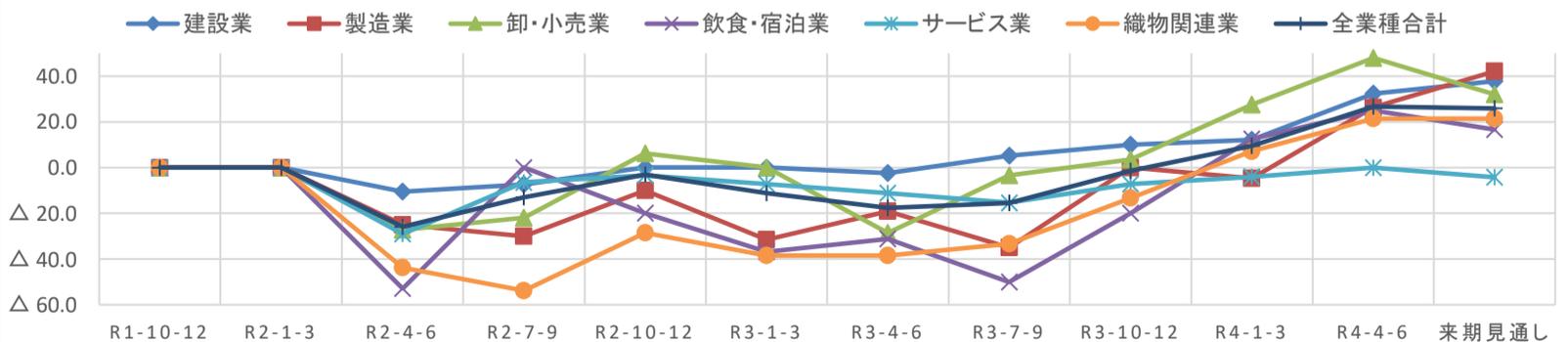


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で12.1ポイントで、前回調査時より14.4ポイント上昇している。サービス業以外の業種で上昇という形となった。来期に関しては、サービス業以外で低下予測となり、全業種DI値も低下する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

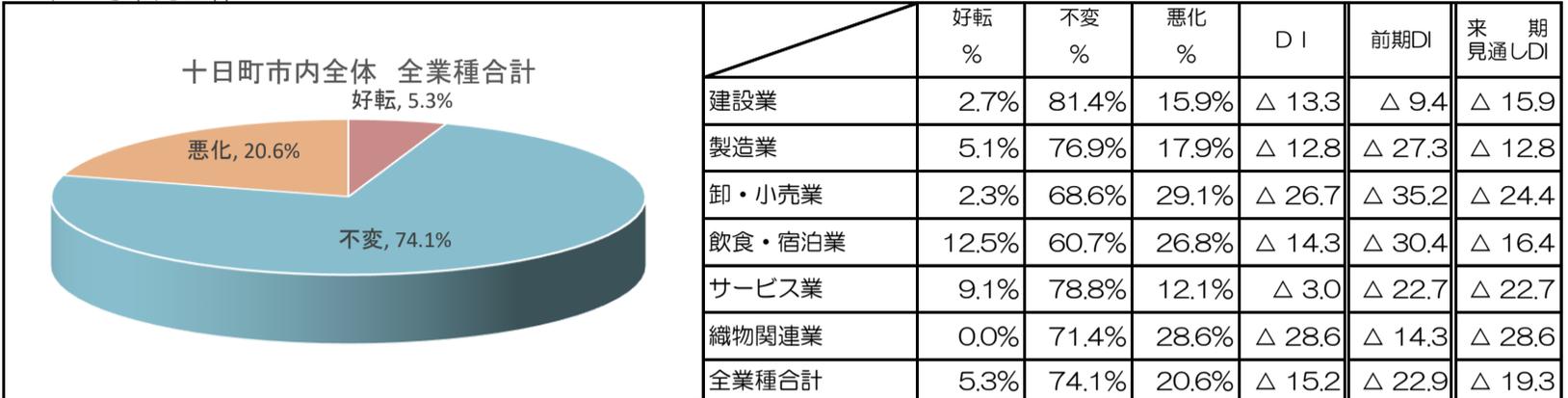


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が26.7ポイントで前回調査時より17.1ポイント上昇している。全ての業種で単価の上昇が見られた。来期見通しでは、建設業、製造業で上昇、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業で低下、織物関連業で横ばいとなり、業種DI値は若干低下する見通しとなっている。
※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

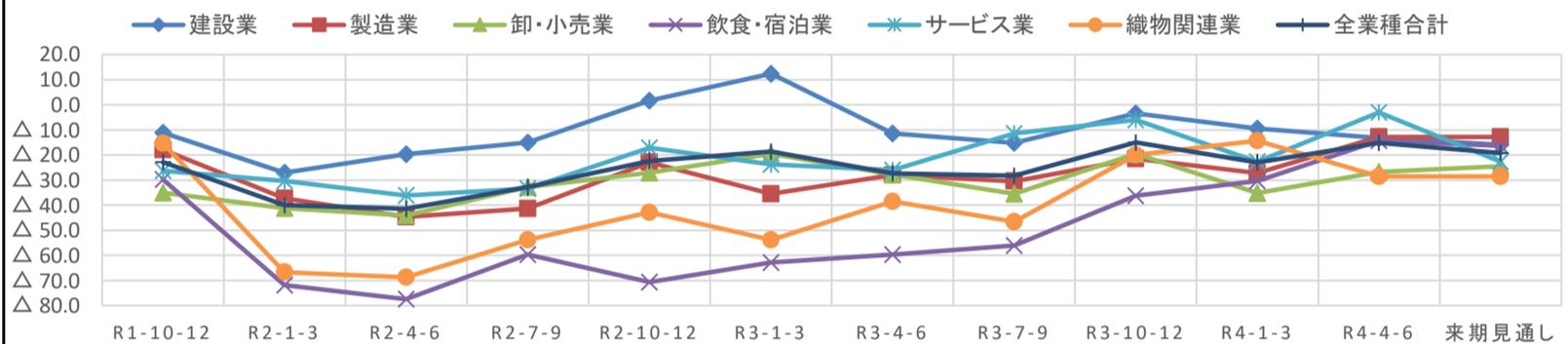
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

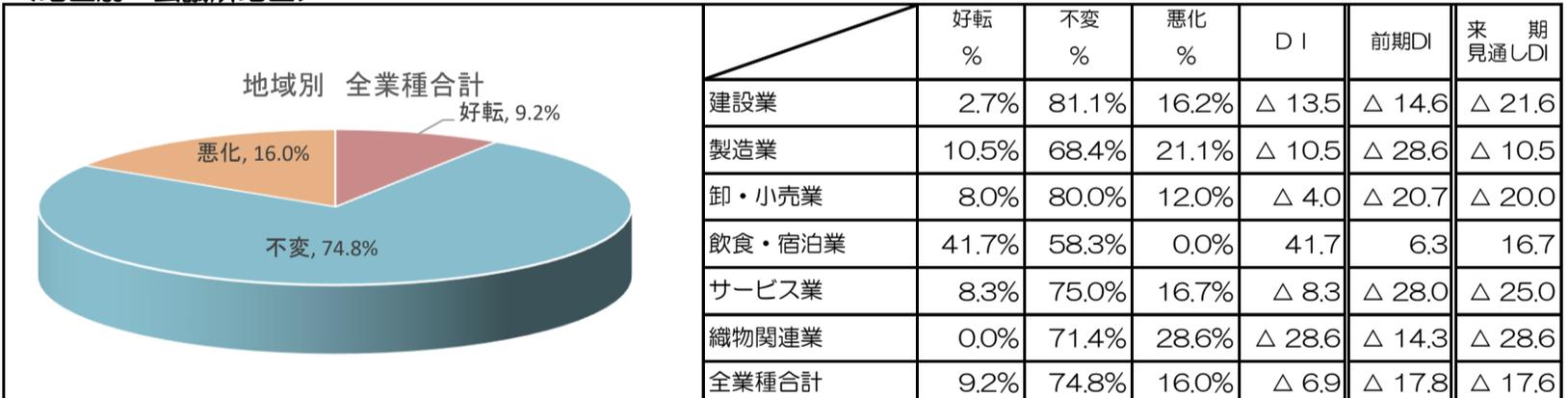


業種別資金繰りの推移(市内全体)

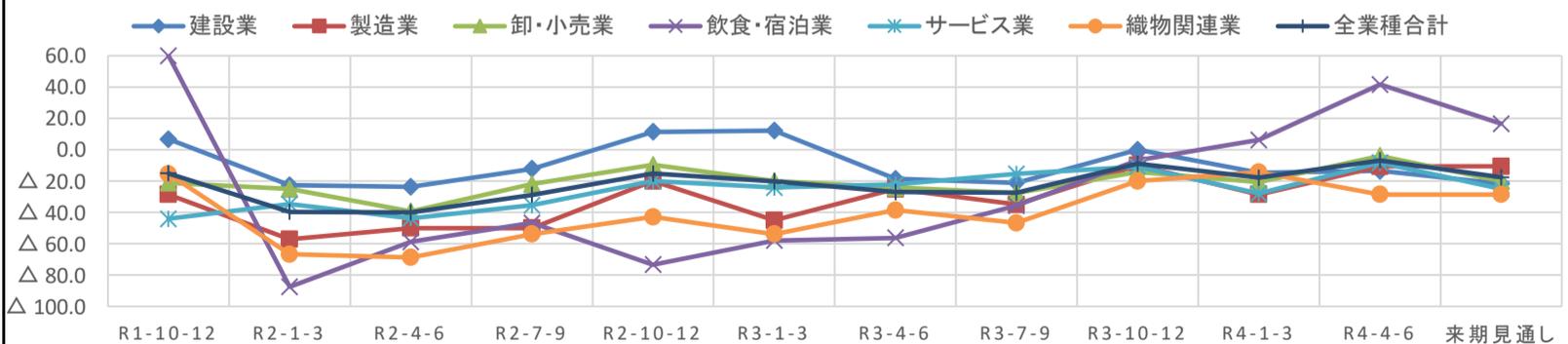


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△15.2ポイントで、前回調査時より7.7ポイント好転している。建設業以外の業種で好転という形となった。来期見通しとしては、卸・小売業以外の業種で悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

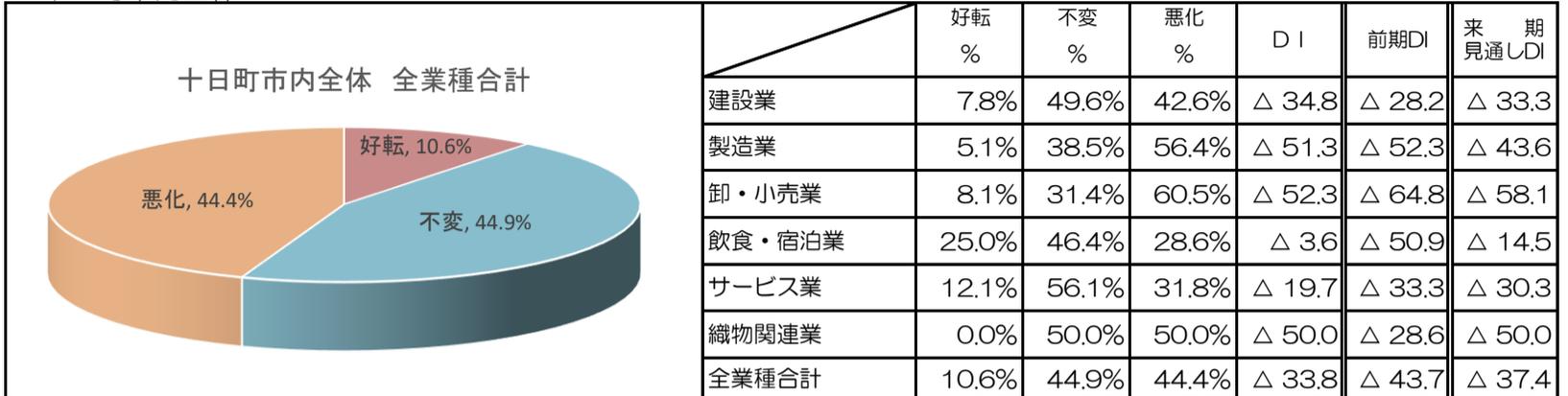


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△6.9ポイントで、前回調査時よりも10.9ポイント悪化している。業種別に見ると、織物関連業（前期比△14.3ポイント）悪化しているが、その他の業種は好転している。来期見通しにおいては、製造業と織物関連業で横ばい、その他の業種では悪化予測となり、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

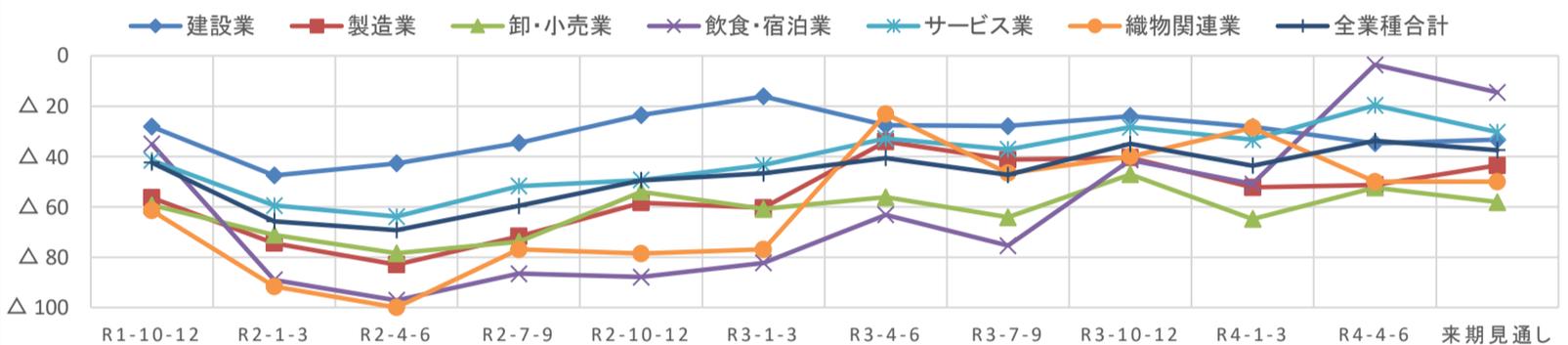
6. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

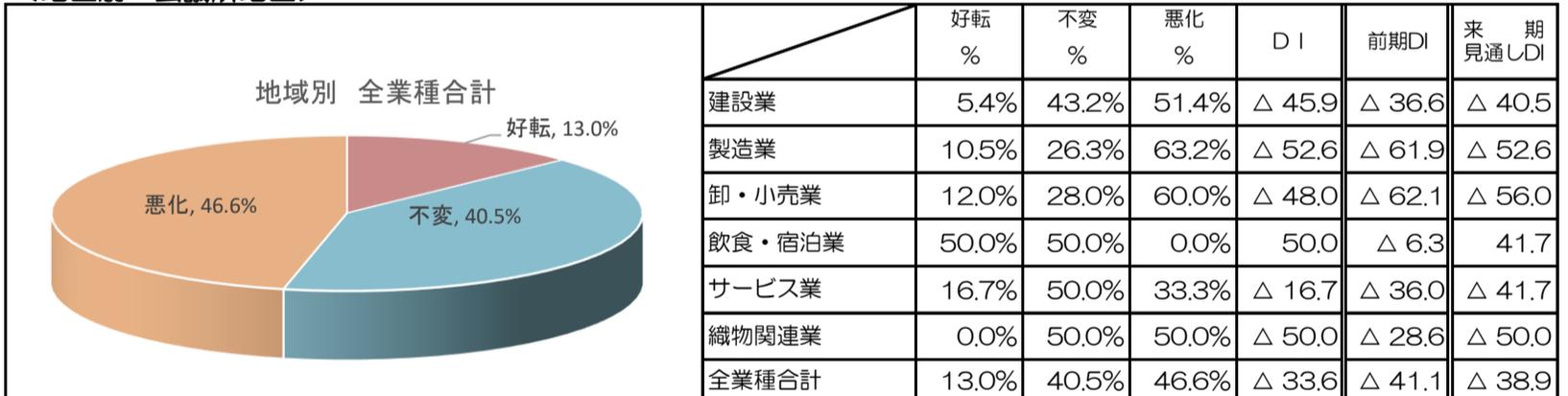


業種別景況判断の推移(市内全体)

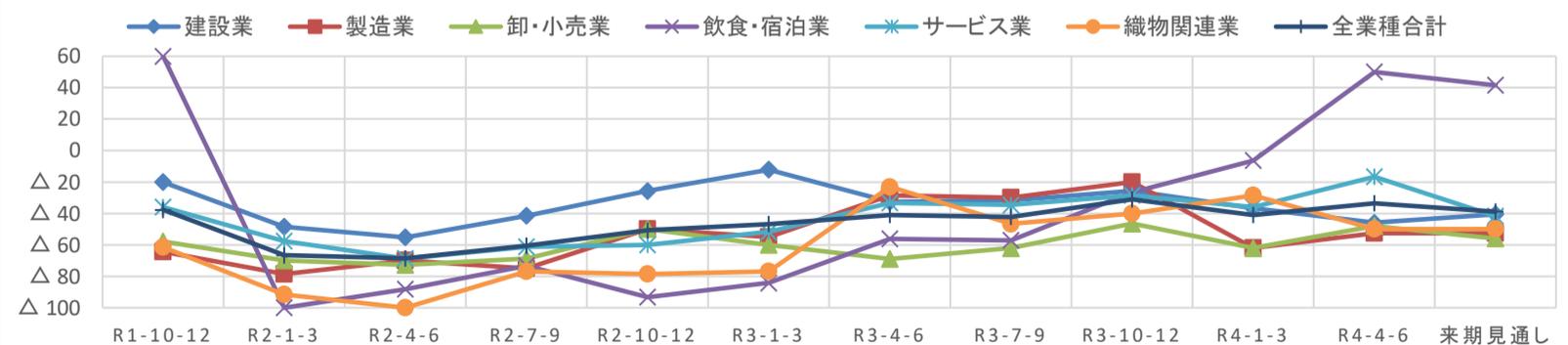


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△33.8ポイントで、前回調査時よりも9.9ポイント好転している。建築資材高騰の影響により建設業の数値の悪化が見受けられたが、その他業種で軒並み好転となり、全業種DI値を引き上げた。来期見通しは、建設業と製造業が好転予測となるが、その他の業種は悪化予測であり、全業種DI値についても悪化する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

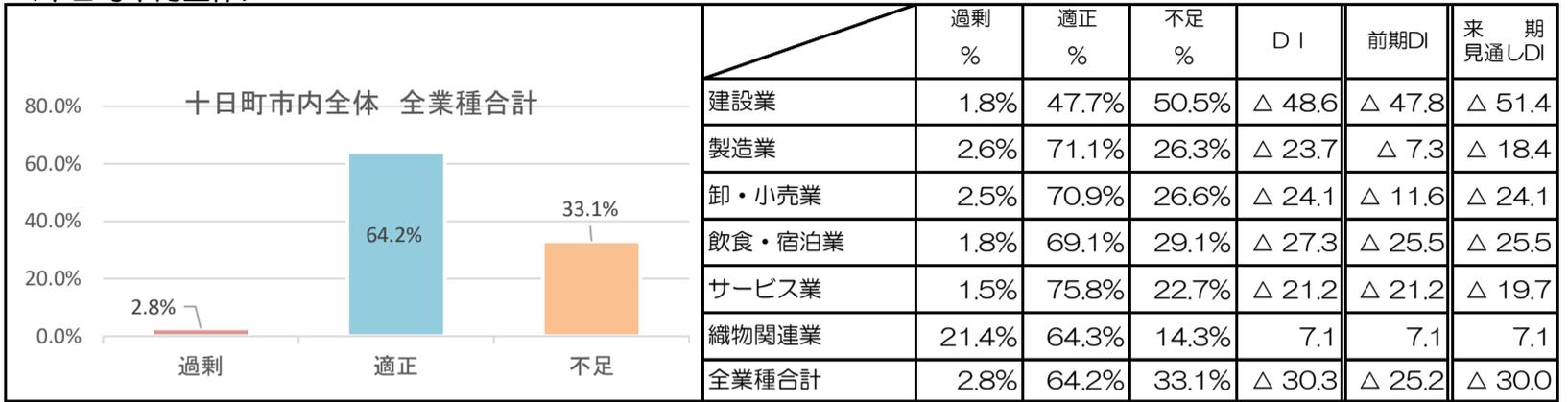


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△33.6ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイント好転している。業種別に見ると、建設業（前期比△9.3ポイント）と織物関連業（前期比△21.4ポイント）で悪化したが、その他の業種では改善している。来期見通しでは、建設業が好転予測、製造業と織物関連業が横ばい、その他の業種が悪化予測されている。

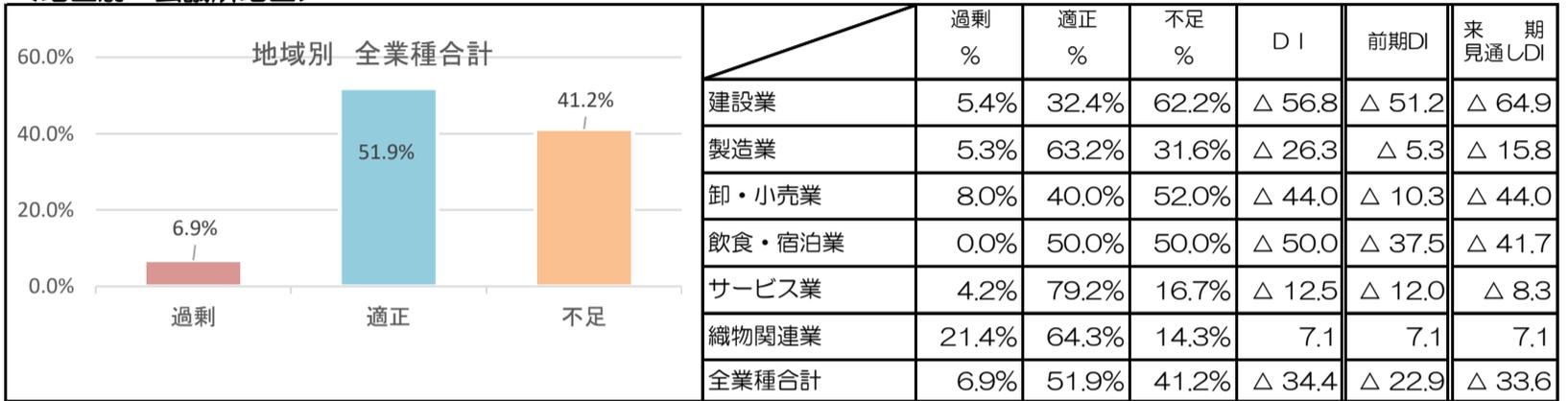
7. 従業員数について

・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



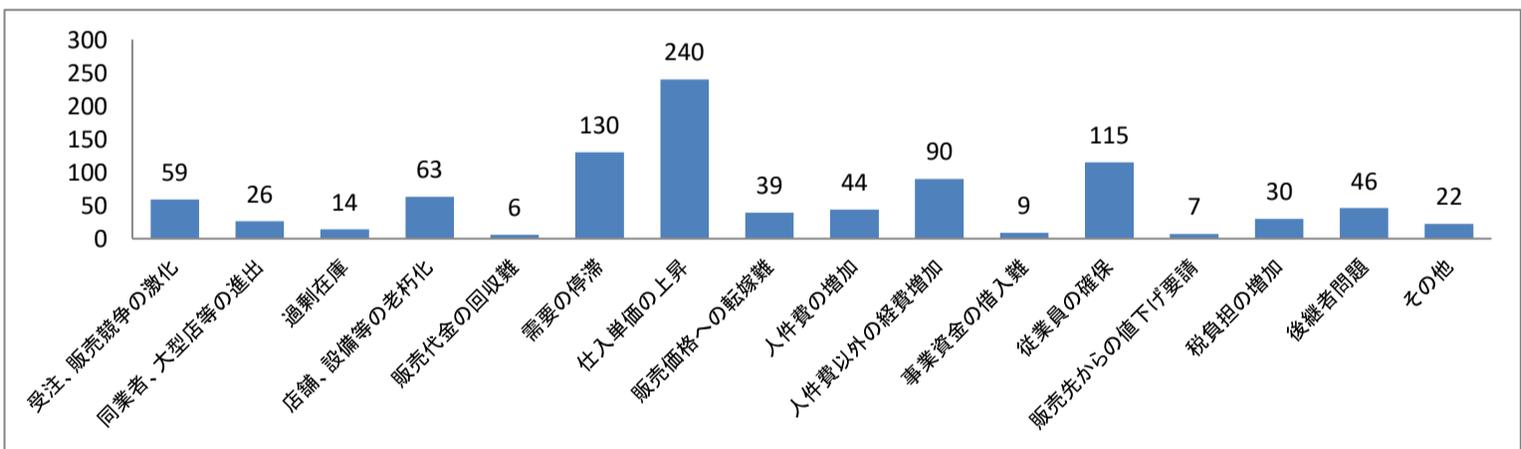
<地区別：会議所地区>



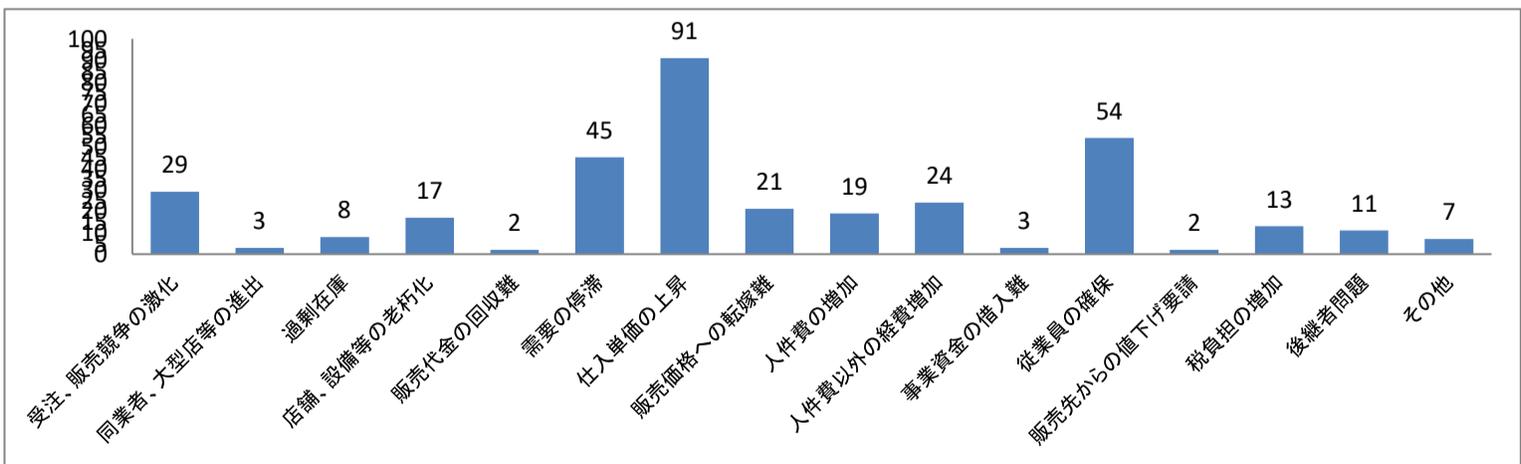
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.2%減少し、不足回答が3.9%前回調査時よりも増加している。会議所地区の状況は、全業種合計においては適正回答が一番多いものの、建設業の62.2%が不足と回答している。飲食・宿泊業では過剰回答が0件であった。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、主要な3項目について大きな順位変動はなかった。会議所地区の経営上の問題点は、1位が「仕入単価の上昇」2位が「従業員の確保」3位が「需要の停滞」となっている。

9. 地区の景況概要

・ 4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、販売(客)単価と資金繰りをが好転しているが、その他はすべて悪化している。来期見通しにおいては資金繰り以外の項目は好転の見通しとなっている。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、全ての項目で好転となっているが、仕入単価においては回答の84.2%が上昇と前期に続いて大きな割合を占め厳しい状況が続いている。来期見通しにおいては売上、仕入単価の悪化が予測されるが、販売(客)単価は好転、その他は横ばいの見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、仕入単価以外は好転しているが、仕入単価については回答の100%が上昇という極めて厳しいものになっている。来期見通しにおいては仕入単価が低下予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」の順に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、仕入単価以外の項目は好転しており、売上は前期比より73.0ポイント増加している。来期見通しにおいては仕入単価が低下予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」の順に多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、仕入単価を除いた項目は好転している。来期見通しにおいては仕入単価が横ばい予測ではあるが、その他については悪化の見通しとなった。経営上の問題点は、「販売価格への転嫁難」「仕入単価の上昇」「人件費の増加」の順に多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、販売(客)単価を除いたすべての項目で悪化となった。特に仕入単価においては100%が上昇と回答している。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「販売価格への転嫁難」の順に多く回答されている。